

DIC株式会社

2025年度 決算説明資料

2026年2月



DIC株式会社

ハイライト

	2024	2025	前回見通し からの増減	前年からの 増減	2026 見通し	前年からの 増減
(億円)						
売上高	10,711	10,522	▼ -78	▼ -189	11,000	▲ 478
営業利益	445	522	▲ 22	▲ 77	560	▲ 38
営業利益率	4.2%	5.0%	▲ +0.2pt	▲ +0.8pt	5.1%	▲ +0.1pt
親会社株主に帰属する当期純利益	213	324	▲ 84	▲ 110	330	▲ 6
年間配当/株 (円)						
普通配当	100	120			140	
特別配当	0	80			0	

新株主還元方針 P.4参照

- ・ 総還元性向40%以上
- ・ 下限配当120円

2025年 実績

各段階利益で前回見通しを上回って着地

- ・ 売上高は、物価高や景気先行きに対する懸念等を背景に、パッケージ用インキ、塗料用顔料、プラスチック用顔料など消費財に近いボリュームゾーンの製品の出荷数量が減少したため、減収となった
- ・ 営業利益は、高付加価値製品の出荷が堅調に推移したこと、スプレッドを重視した販売価格の徹底により収益性が改善したことにより、増益となった。中でも、カラー & ディスプレイの収益性改善が増益に寄与した
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益は、美術品売却による特別利益69億円を計上したことにより、前年および前回見通し（11月時点）を大幅に上回る着地となった

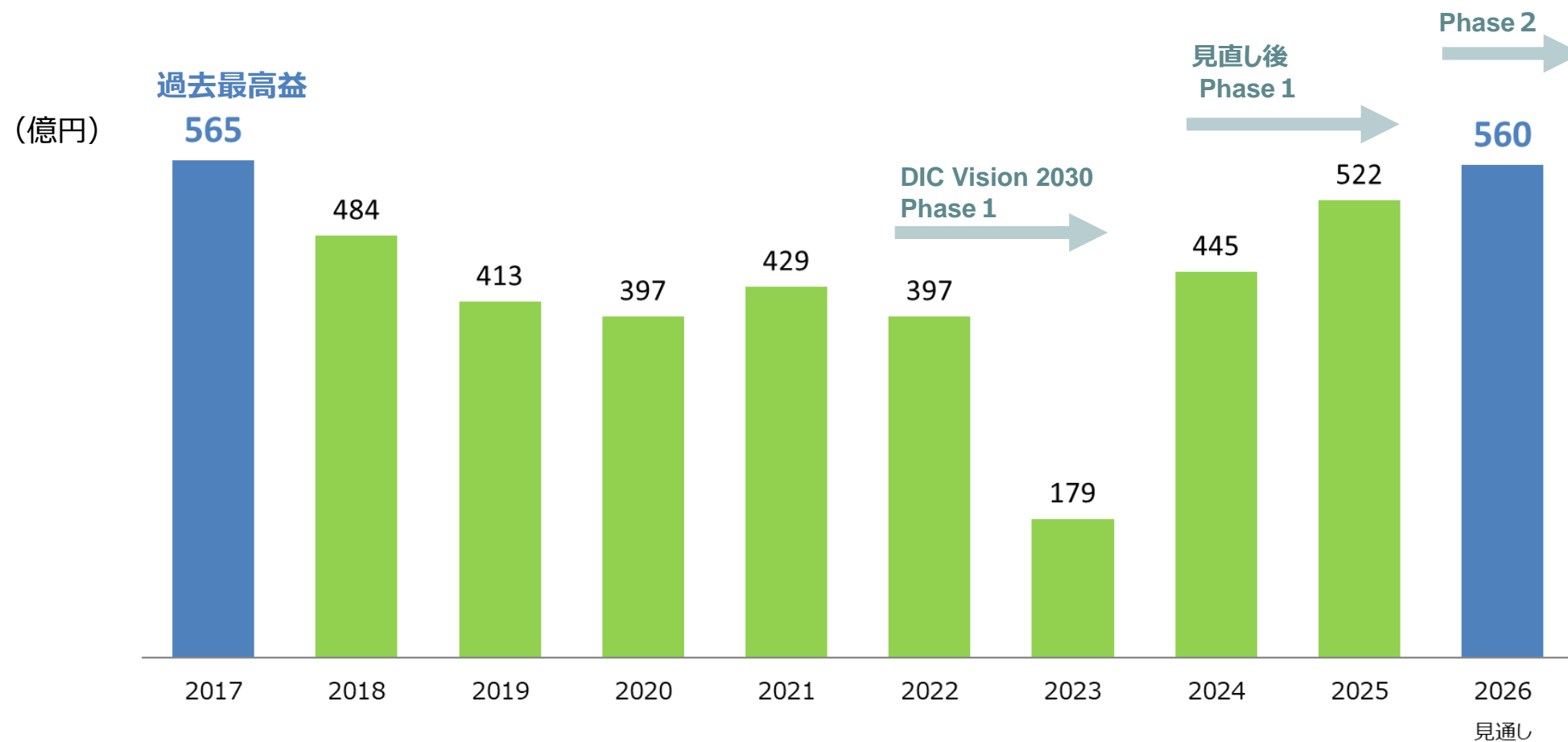
2026年 見通し

増収増益、普通配当を120円から140円に増配

- ・ 海外での需要回復の取り込み、高付加価値製品の拡販により、増収増益の見通し。カラー & ディスプレイにおいて引き続き構造改革に取り組み、更なる収益力回復を図る
- ・ 「総還元性向40%以上」との新しい株主還元方針に基づき、普通配当を20円増配し、年間配当を140円とする

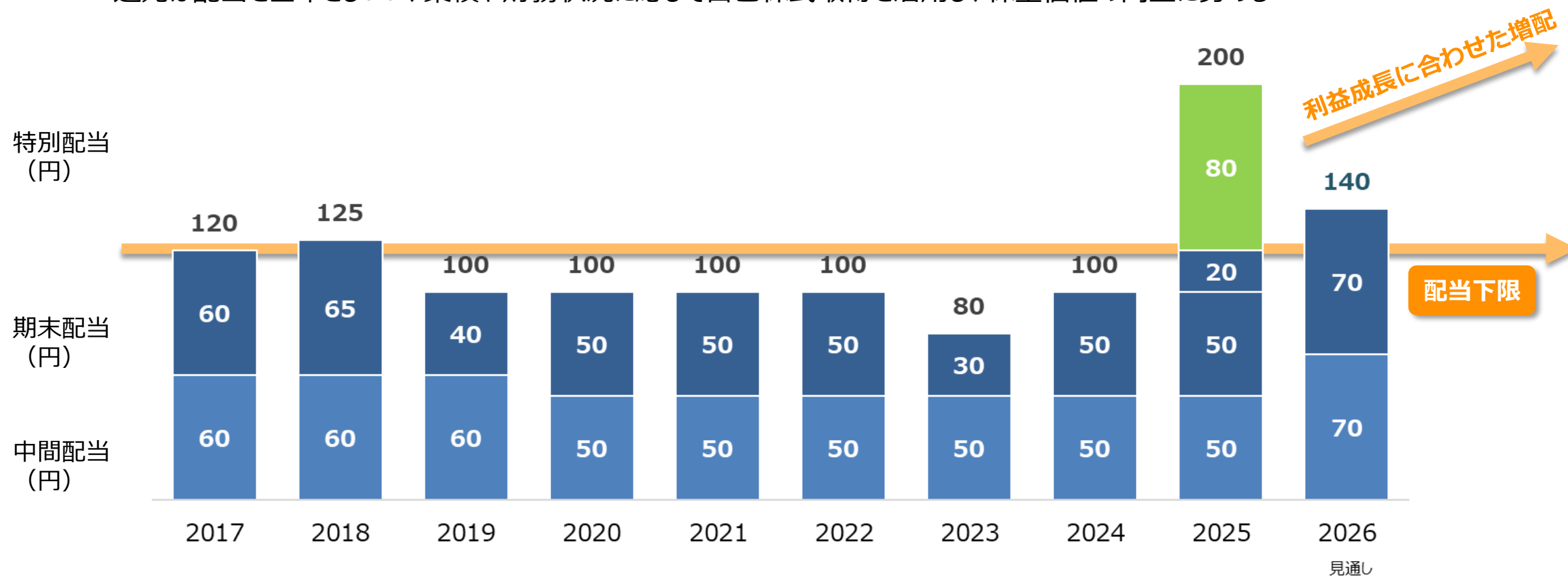
営業利益推移

- 過去2年間にわたる基盤づくりの期間を経て、2026年度は過去最高益更新が視野に入った



新株主還元方針

- 安定的な株主還元を重視し、年間配当に下限を設定。2019年以降の普通配当の平均的な水準よりも高い**120円を下限**とする
- その上で、利益成長に合わせて還元水準の向上を図るため、「**総還元性向40%以上**」を新たな還元方針とする
- 還元は配当を基本としつつ、業績や財務状況に応じて自己株式取得を活用し、株主価値の向上に努める



連結損益計算書

(億円)	2024	2025	増 減	増減比	現地通貨ベース 増減比
売上高	10,711	10,522	△ 189	△ 1.8%	△ 1.7%
売上原価	△ 8,489	△ 8,242	247		
販売費及び一般管理費	△ 1,777	△ 1,758	19		
営業利益	445	522	77	+ 17.2%	+ 17.8%
営業利益率	4.2%	5.0%	-		
金融収支	△ 50	△ 35	15		
持分法投資損益	33	39	6		
為替差損益	△ 29	△ 51	△ 23		
その他	△ 20	△ 32	△ 11		
経常利益	379	442	63	+ 16.7%	
特別利益	124	147	23		
特別損失	△ 126	△ 73	53		
税前利益	377	516	140		
法人税等	△ 154	△ 184	△ 30		
当期純利益	222	332	110		
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 9	△ 9	1		
親会社株主に帰属する当期純利益	213	324	110	+ 51.8%	
EBITDA*	957	1,093	136	+ 14.2%	

*EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

特別損益の内訳	2024	2025
特別利益		
美術品売却益	-	69
関係会社株式及び出資金売却益	13	48
固定資産売却益	70	12
受取保険金	-	12
投資有価証券売却益	41	6
特別損失		
固定資産処分損	△32	△ 21
リストラ関連退職損失	△39	△ 20
減損損失	△2	△ 13
環境対策引当金繰入額	-	△ 11
関係会社株式及び出資金売却損	△45	△ 5
関係会社整理損	-	△ 3
事業撤退損	△5	-
製品補償損失引当金繰入額	△3	-

■平均レート

	2024	2025
USD/円	151.04	150.08
EUR/円	163.34	169.58

財務体質

(億円)	2024 期末	2025 期末	増減
ネット有利子負債	4,225	3,894	△ 331
自己資本	4,014	4,709	695
ネットD/Eレシオ *1	1.05倍	0.83倍	
自己資本比率	32.7%	37.0%	
1株当たり純資産 (円)	4,239.67	4,973.39	
ROIC *2	3.8%	4.4%	
ROE	5.6%	7.4%	

*1 ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

*2 ROIC：営業利益×（1-実効税率28%）／（ネット有利子負債＋純資産）

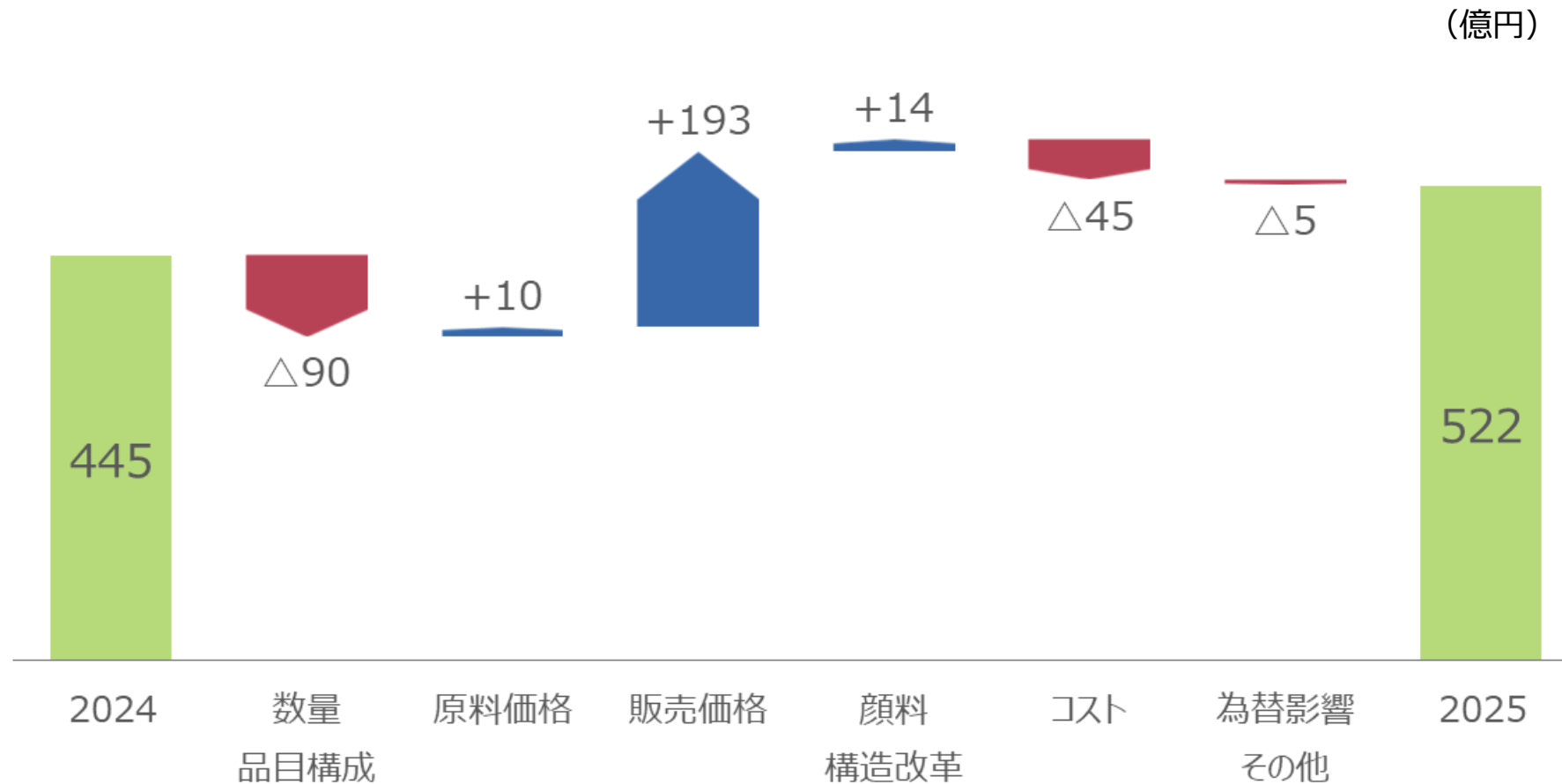
- ! 好調な事業収益と資産売却推進により、フリーキャッシュフロー524億円を創出、有利子負債の大幅削減に寄与
- ! ドル以外の通貨に対して円安が進んだため為替換算調整勘定が増加（+296）

■ 期末レート

	2024 期末	2025 期末
USD/円	156.24	156.60
EUR/円	161.74	183.76
人民元/円	21.41	22.41

営業利益増減要因

- スプレッドを重視する販売価格の徹底により収益性が改善



セグメント別業績

(億円)	売 上 高					営 業 利 益					営 業 利 益 率	
	2024	2025	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024	2025	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024	2025
パッケージング＆グラフィック	5,601	5,497	△ 104	△1.9%	△1.3%	316	311	△ 6	△1.7%	+ 1.6%	5.6%	5.7%
日本	1,290	1,255	△ 36	△2.8%	△2.8%	61	58	△ 3	△4.3%	△4.3%	4.7%	4.6%
米州・欧州	3,573	3,530	△ 44	△1.2%	△0.5%	193	186	△ 7	△3.5%	+ 1.8%	5.4%	5.3%
アジア他	903	850	△ 53	△5.9%	△3.8%	65	65	△ 1	△0.8%	△0.2%	7.2%	7.6%
連結調整	△ 166	△ 138	28	-	-	△ 3	2	4	-	-	-	-
カラー＆ディスプレイ	2,570	2,475	△ 95	△3.7%	△4.4%	△ 3	50	53	黒字化	黒字化	-	2.0%
日本	352	344	△ 8	△2.3%	△2.3%	56	49	△ 7	△13.0%	△13.0%	16.0%	14.3%
海外	2,363	2,303	△ 60	△2.5%	△3.3%	△ 58	1	58	黒字化	黒字化	-	0.0%
連結調整	△ 146	△ 173	△ 27	-	-	△ 1	△ 0	1	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,960	2,909	△ 51	△1.7%	△2.1%	214	231	17	+ 7.9%	+ 6.9%	7.2%	7.9%
日本	1,817	1,797	△ 19	△1.1%	△1.1%	101	108	7	+ 6.9%	+ 6.9%	5.5%	6.0%
海外	1,475	1,431	△ 44	△3.0%	△3.7%	114	123	9	+ 8.1%	+ 6.1%	7.7%	8.6%
連結調整	△ 332	△ 320	12	-	-	△ 0	0	1	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 419	△ 358	61	-	-	△ 82	△ 70	13	-	-	-	-
連結合計	10,711	10,522	△ 189	△1.8%	△1.7%	445	522	77	+ 17.2%	+ 17.8%	4.2%	5.0%
USD/円	151.04	150.08		△0.6%		151.04	150.08		△0.6%			
EUR/円	163.34	169.58		+ 3.8%		163.34	169.58		+ 3.8%			

パッケージング&グラフィック

- 日本

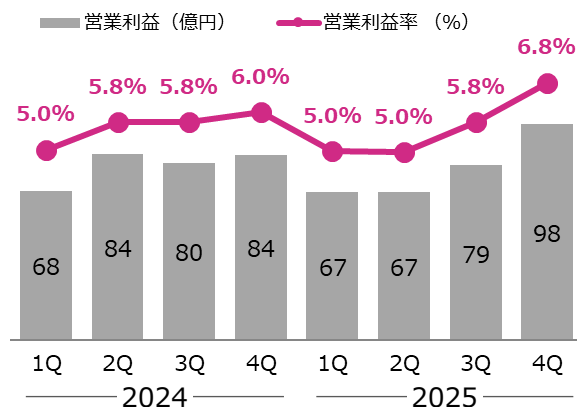
 - ジェットインキは堅調に推移したが、物価高にともなう消費の落ち込みによりパッケージ用インキやポリスチレンの出荷が伸び悩み、減益となった
- 米州・欧州

 - パッケージ用インキの出荷数量が減少したが、関税サーチャージを含め適切な販売価格の設定により収益性の維持に努め、現地通貨ベースでは増益となった。しかし、新興国通貨安による為替換算影響を受けて、減益
- アジア

 - 市況が低迷した上、価格競争が強まり減収となったが、コストの圧縮につとめ、前年並みとなった

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2024	2025	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024	2025	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024	2025
パッケージング&グラフィック	5,601	5,497	△ 104	△1.9%	△1.3%	316	311	△ 6	△1.7%	+ 1.6%	5.6%	5.7%
日本	1,290	1,255	△ 36	△2.8%	△2.8%	61	58	△ 3	△4.3%	△4.3%	4.7%	4.6%
米州・欧州	3,573	3,530	△ 44	△1.2%	△0.5%	193	186	△ 7	△3.5%	+ 1.8%	5.4%	5.3%
アジア他	903	850	△ 53	△5.9%	△3.8%	65	65	△ 1	△0.8%	△0.2%	7.2%	7.6%
連結調整	△ 166	△ 138	28	-	-	△ 3	2	4	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

	増減比	
パッケージ用インキ*	+ 1%	需要が減速し低調な出荷となったが、スプレッドを重視した販売価格の徹底により、増収
出版用インキ*	△9%	デジタル化の進展により需要が減少
ジェットインキ	+ 2%	デジタル化の進展で出荷を伸ばし、増収
ポリスチレン	△14%	原料価格下落に伴う販売価格改定に加え、物価高による食料品の買い控えが解消されず減収
多層フィルム	△0%	食品価格の上昇により食品包装用の需要が停滞したが、販売価格の維持により前年並み

*現地通貨ベース増減比

カラー&ディスプレイ

売上高

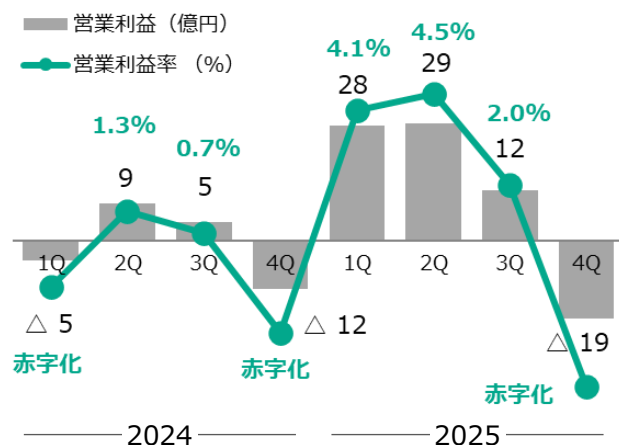
- 上期は需要の回復が見られたが、下期に入って景気の先行き不透明感が強まり、売上構成比の高い塗料用・プラスチック用・インキ用顔料で出荷数量が減少した。2024年12月をもって液晶材料事業から撤退したことも減収要因となった

営業利益

- 関税サーチャージや価格改定による収益性改善に加え、構造改革の推進によりコスト削減に努めた結果、赤字であった海外が黒字に転換し、大幅増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2024	2025	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024	2025	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024	2025
カラー & ディスプレイ	2,570	2,475	△ 95	△3.7%	△4.4%	△ 3	50	53	黒字化	黒字化	-	2.0%
日本	352	344	△ 8	△2.3%	△2.3%	56	49	△ 7	△13.0%	△13.0%	16.0%	14.3%
海外	2,363	2,303	△ 60	△2.5%	△3.3%	△ 58	1	58	黒字化	黒字化	-	0.0%
連結調整	△ 146	△ 173	△ 27	-	-	△ 1	△ 0	1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

増減比*		
顔料	塗料用	+ 1% 景気の先行き不透明感から出荷数量は減少したが、価格改定により増収
	プラスチック用	+ 3% 景気の先行き不透明感から出荷数量は減少したが、価格改定により増収
	インキ用	△13% 顧客の在庫調整により、減収
	化粧品用	△8% 欧米化粧品メーカー向けの出荷が低調であった
	ディスプレイ用	+ 1% 2Q以降、パネルメーカーの生産調整にともない出荷が減速
	スペシャリティ用	+ 6% 在庫調整が一巡した農業向けの出荷が好調であった

*現地通貨ベース増減比

ファンクショナルプロダクツ

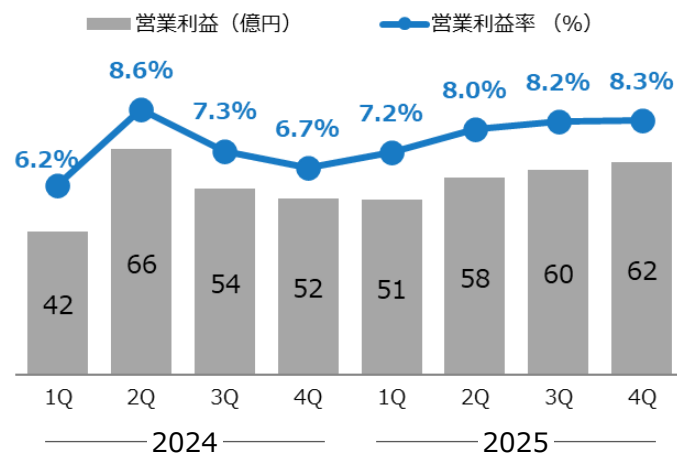
- 売上高

 - エレクトロニクスに関連する高付加価値製品の出荷が好調に推移した。モビリティに関連する製品も底堅く推移した。しかし、住宅建設インフラ用途や一般工業用途の汎用品の出荷が減少し、減収となった
 - また、2025年4月にDICデコール（建築内装材事業）を売却したことが、44億円の減収要因となっている
- 営業利益

 - 高付加価値製品の増加で品目構成が改善。スプレッドを重視する販売価格の徹底により、増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2024	2025	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024	2025	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024	2025
ファンクショナルプロダクツ	2,960	2,909	△ 51	△ 1.7%	△ 2.1%	214	231	17	+ 7.9%	+ 6.9%	7.2%	7.9%
日本	1,817	1,797	△ 19	△ 1.1%	△ 1.1%	101	108	7	+ 6.9%	+ 6.9%	5.5%	6.0%
海外	1,475	1,431	△ 44	△ 3.0%	△ 3.7%	114	123	9	+ 8.1%	+ 6.1%	7.7%	8.6%
連結調整	△ 332	△ 320	12	-	-	△ 0	0	1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

	増減比		増減比
エポキシ樹脂	+ 3%	PPSコンパウンド	△ 0%
工業用テープ	+ 10%	アクリル樹脂	+ 3%
UV硬化型樹脂	+ 6%	ウレタン樹脂	△ 1%
		水性樹脂	△ 2%
		ポリエステル樹脂	△ 3%
		中空糸膜モジュール	+ 9%

エポキシ樹脂、工業用テープ、UV硬化型樹脂、中空糸膜モジュールなどのデジタル分野がメインとなる製品は好調に推移した。そのほかの製品については、モビリティ関連の用途は底堅く推移したものの、住宅建設インフラ用途や一般工業用途では汎用品を中心に出荷が低迷した。

■ファンクショナルプロダクツ 補足資料

- ファンクショナルプロダクツに含まれている**ケミトロニクス事業本部**の業績

売上高

- ・ エポキシ樹脂は、生成AIサーバー、PC、スマートフォン関連の高付加価値製品が好調な出荷となった
- ・ 工業用テープは、スマートフォン等のモバイル機器向けの需要を着実に取り込み、当社製品の採用が増加した

営業利益

- ・ 製品の開発や実装を加速するための技術コストが増加したものの、売上の増加で吸収し、増益

(億円)	売 上 高				営 業 利 益				営業利益率	
	2024	2025	増減	増減比	2024	2025	増減	増減比	2024	2025
ケミトロニクス事業本部	610	653	43	+ 7.0%	76	78	2	+ 3.2%	12.4%	12.0%

主な製品：エポキシ樹脂等のパッケージ基板・プリント基板向けの熱硬化性樹脂、工業用テープ、UV硬化型樹脂、フォトレジスト用樹脂・化合物、界面活性剤

2025年度セグメント別ROIC

セグメント		2024	2025	ROIC-WACCスプレッド拡大のための施策
パッケージング & グラフィック	営業利益	316億円	311億円	<ul style="list-style-type: none"> 環境対応・高機能化等、付加価値の高い製品へのシフト 出版インキ事業の構造改革推進、工場跡地等の資産売却による経営資源の有効活用 戦略的価格政策による収益性維持
	ROIC	7.9%	7.2%	
カラー & ディスプレイ	営業利益	△3億円	50億円	<ul style="list-style-type: none"> 欧米を中心とした生産拠点統廃合・構造改革推進による固定費の抜本的削減継続 買収事業シナジーによる製品の多色展開・高機能化
	ROIC	△0.1%	1.3%	
ファンクショナルプロダクツ	営業利益	214億円	231億円	<ul style="list-style-type: none"> ケミトロニクス事業への経営資源集中投入によるエレクトロニクス関連事業の拡大 買収事業シナジーによる製品開発力強化、中国／インドを中心にポリマ事業ドミナント戦略による事業拡大 環境対応等付加価値の高い製品へのシフト ノンコア事業の入れ替え アジアを中心としたコモディティ製品生産拠点統廃合
	ROIC	7.0%	7.9%	
全社合計	営業利益	445億円	522億円	<ul style="list-style-type: none"> 業績の安定化、配当の下限設定による配当金への信頼性向上などの取り組みにより、資本コストの低減を図る
	ROIC	3.8%	4.4%	

2025年度より「パッケージング & グラフィック」、「ファンクショナルプロダクツ」及び「その他、全社・消去」のセグメント間で、売上高と営業利益の一部についてセグメント区分を変更しています。これに伴い、2024年度実績についても変更後の数値に組み替えて記載しています

2026年度の業績見通し


■ 美術品売却による特別利益は、見通しに織り込んでいる

(億円)

(億円)


	2025	2026 見通し	増減比	
売上高	10,522	11,000	+ 4.5%	
営業利益	522	560	+ 7.3%	
営業利益率	5.0%	5.1%	－	
経常利益	442	480	+ 8.5%	
親会社株主に帰属する当期純利益	324	330	+ 2.0%	
1株当たり純利益(円)	341.71	348.54	－	
EBITDA *1	1,093	1,110	+ 1.6%	
設備投資・投融資	426	534	+ 25.4%	
減価償却費・のれん償却額	550	547	△0.5%	
平均レート	USD/円	150.08	150.00	△0.1%
	EUR/円	169.58	168.00	△0.9%

*1 EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

	2025	2026 見通し
ROIC *2	4.4%	4.7%
ROE	7.4%	7.1% 
ネットD/Eレシオ *3	0.83倍	0.80倍
年間配当／株 (円)	200	140
総還元性向	58.5%	40.2%

*2 ROIC：営業利益×（1-実効税率28%）／（ネット有利子負債＋純資産）

*3 ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

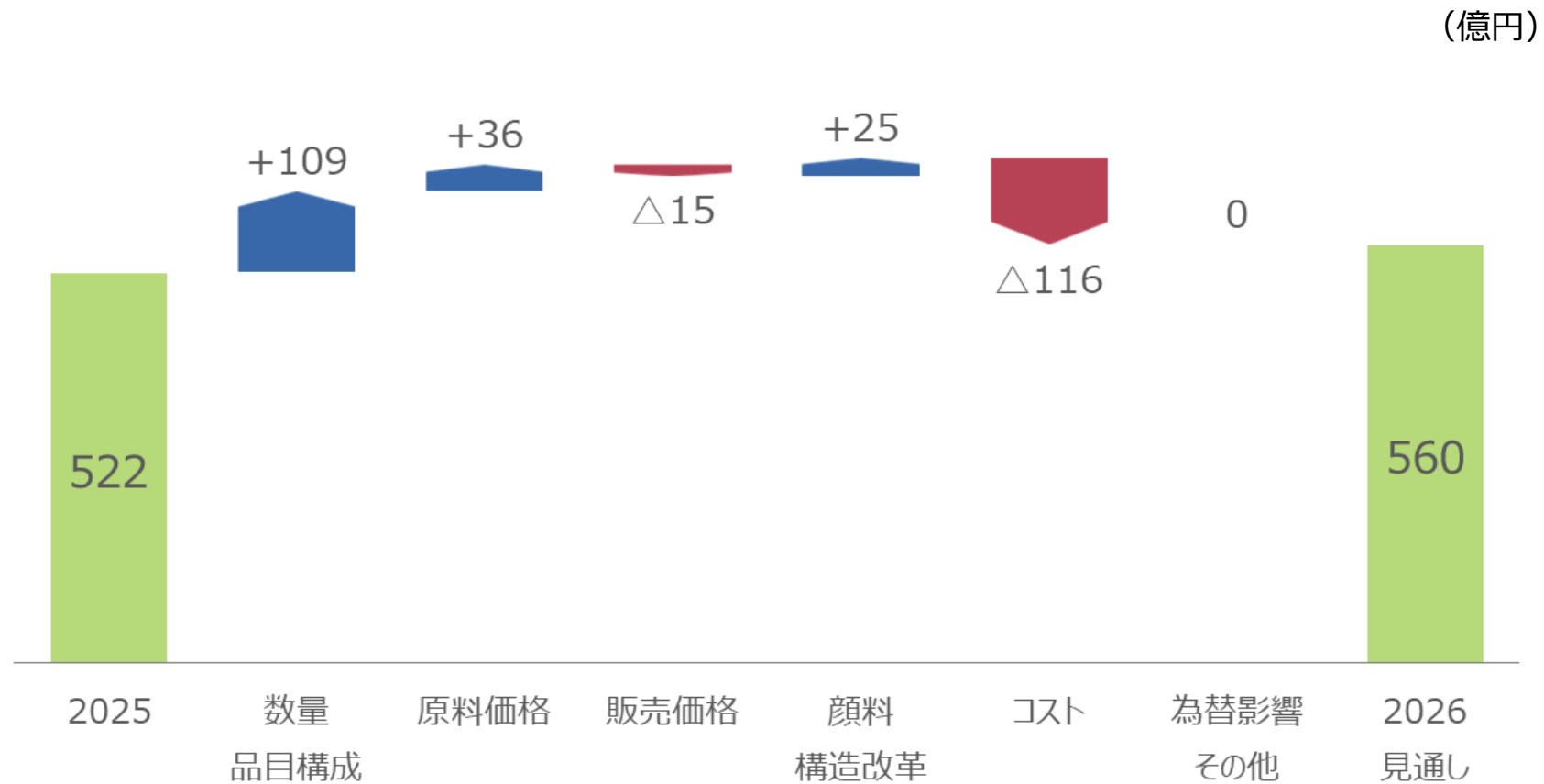
 為替換算調整勘定の増加により自己資本が積み上がったため、当期純利益は伸びる計画であるものの、ROEはやや低下する見通し。2030年ROE10%以上という計画に向けて、引き続き資本収益性の改善に取り組み、早期にROEの水準の引き上げを図る

2026年上期の業績見通し

(億円)	2025上期	2026上期	増減比
売上高	5,232	5,600	+ 7.0%
営業利益	270	290	+ 7.5%
経常利益	203	255	+ 25.6%
親会社株主に帰属する中間期純利益	131	170	+ 29.9%
中間配当/株 (円)	50	70	

営業利益増減要因

- 海外での需要回復の取り込み、高付加価値製品の拡販により、増収増益の見通し



2026年度のセグメント別業績見通し

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2025	2026 見通し	増減	増減比	2025	2026 見通し	増減	増減比	2025	2026 見通し
パッケージング＆グラフィック	5,497	5,770	273	+ 5.0%	311	300	△ 11	△3.5%	5.7%	5.2%
日本	1,255	1,280	25	+ 2.0%	58	60	2	+ 3.3%	4.6%	4.7%
米州・欧州	3,530	3,730	200	+ 5.7%	186	175	△ 11	△6.1%	5.3%	4.7%
アジア他	850	880	30	+ 3.6%	65	65	0	+ 0.4%	7.6%	7.4%
連結調整	△ 138	△ 120	18	-	2	0	△ 2	-	-	-
カラー＆ディスプレイ	2,475	2,550	75	+ 3.0%	50	85	35	+ 70.3%	2.0%	3.3%
日本	344	360	16	+ 4.7%	49	61	12	+ 24.5%	14.3%	16.9%
海外	2,303	2,360	57	+ 2.5%	1	24	23	26.4倍	0.0%	1.0%
連結調整	△ 173	△ 170	3	-	△ 0	0	0	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,909	2,980	71	+ 2.5%	231	245	14	+ 6.0%	7.9%	8.2%
日本	1,797	1,810	13	+ 0.7%	108	114	6	+ 5.8%	6.0%	6.3%
海外	1,431	1,470	39	+ 2.7%	123	131	8	+ 6.6%	8.6%	8.9%
連結調整	△ 320	△ 300	20	-	0	0	△ 0	-	-	-
その他、全社・消去	△ 358	△ 300	58	-	△ 70	△ 70	△ 0	-	-	-
連結合計	10,522	11,000	478	+ 4.5%	522	560	38	+ 7.3%	5.0%	5.1%
USD/円	150.08	150.00		△0.1%	150.08	150.00		△0.1%		
EUR/円	169.58	168.00		△0.9%	169.58	168.00		△0.9%		

ファンクショナルプロダクツ 補足資料

- ファンクショナルプロダクツに含まれている**ケミトロニクス事業本部**の業績

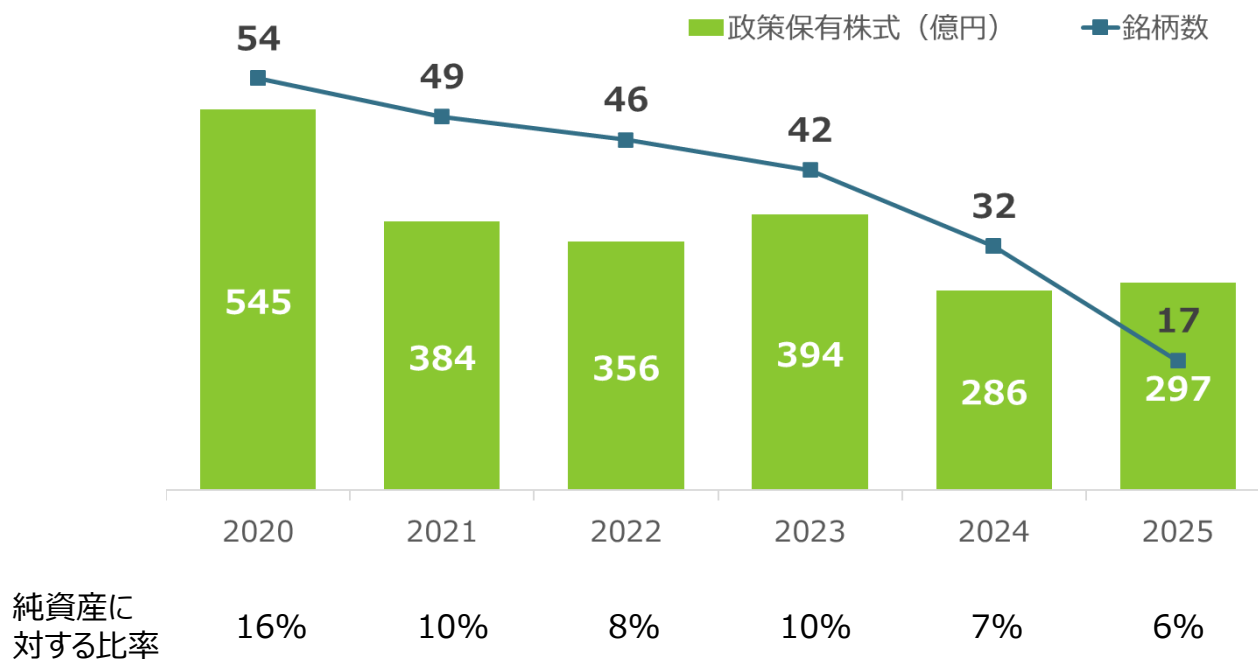
(億円)	売 上 高				営 業 利 益				営業利益率	
	2025	2026 見通し	増減	増減比	2025	2026 見通し	増減	増減比	2025	2026 見通し
ケミトロニクス事業本部	653	680	27	+ 4.2%	78	93	15	+ 19.1%	12.0%	13.7%

参考資料



政策保有株式の縮減

- 毎年、取締役会において保有意義を検証し、継続的に縮減に努めている
- 2026年度までに純資産に対する政策保有株式の比率（時価総額）を4%以下とすることを目標に削減に取り組む
- 縮減は着実に進捗しており、**2026年度に目標を達成見通し**



- ✓ 2025年度は**15銘柄削減**。株価の上昇により残高は増加
- ✓ 2025年末における政策保有株式の内訳は、
 - ・ 直接保有株式 49億円（6銘柄）
 - ・ みなし保有株式 248億円（11銘柄）

※政策保有株式には、みなし保有株式を含む

※非上場株式は含めていない

その他の主なトピックス (2025年11月～2026年2月)

11月

独・ルートヴィヒスハーフェン工場におけるペリレン顔料の生産能力を拡大

11月

製品カーボンフットプリントの算定方法で国際規格準拠の第三者認証を取得

12月

ケアテックスタートアップ企業 株式会社abaへ出資

12月

物流におけるCO₂排出量の可視化を開始


12月

IRサイト評価で国内主要 3 機関から同時受賞

1月

AIロボティクスのスタートアップ企業 株式会社アールティへ戦略的出資

2月

D I Cと国際文化会館のアート・建築分野を起点とする協業本格始動 

ニュースリリース 2025年

<https://www.dic-global.com/ja/news/2025/>



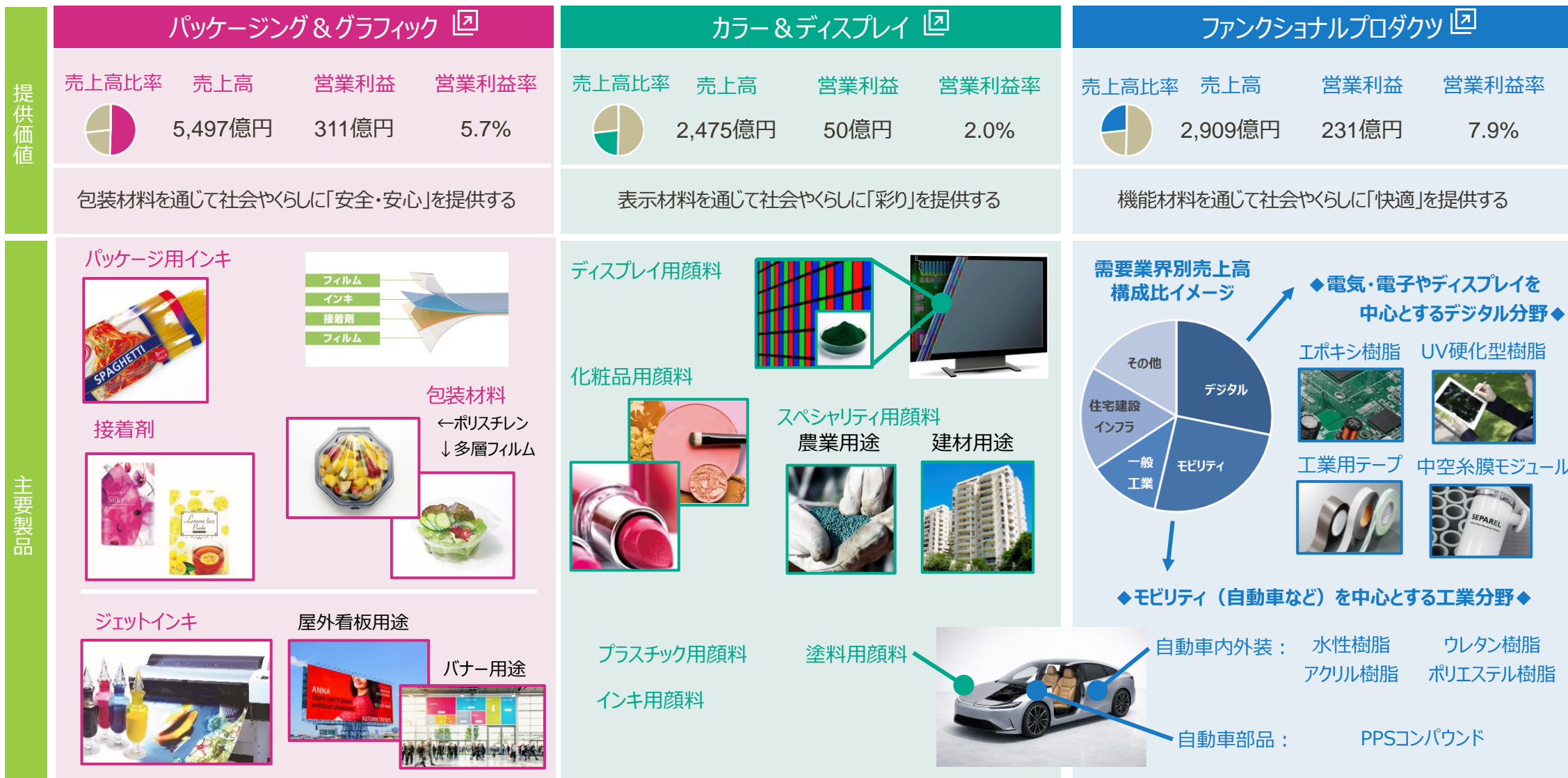
ニュースリリース 2026年

<https://www.dic-global.com/ja/news/2026/>



事業セグメントと主要製品

2025年度実績数値



セグメント別四半期業績推移（参考）

(億円)	売 上 高								営 業 利 益							
	2024 1Q	2024 2Q	2024 3Q	2024 4Q	2025 1Q	2025 2Q	2025 3Q	2025 4Q	2024 1Q	2024 2Q	2024 3Q	2024 4Q	2025 1Q	2025 2Q	2025 3Q	2025 4Q
パッケージング＆グラフィック	1,345	1,463	1,398	1,395	1,340	1,348	1,373	1,436	68	84	80	84	67	67	79	98
日本	297	335	322	337	307	315	312	321	14	21	14	12	10	15	17	16
米州・欧州	875	939	892	868	864	863	877	926	41	49	50	53	44	38	46	58
アジア他	212	231	226	234	205	204	217	223	14	16	16	20	13	14	16	23
連結調整	△ 39	△ 42	△ 42	△ 43	△ 36	△ 35	△ 33	△ 34	△ 2	△ 1	1	△ 1	0	0	0	0
カラー＆ディスプレイ	635	708	651	576	689	630	609	546	△ 5	9	5	△ 12	28	29	12	△ 19
日本	74	95	96	86	89	92	82	81	10	17	15	14	13	17	10	8
海外	595	655	597	517	651	583	564	505	△ 14	△ 8	△ 11	△ 25	16	10	2	△ 27
連結調整	△ 35	△ 42	△ 42	△ 27	△ 50	△ 44	△ 38	△ 40	△ 1	△ 0	1	△ 1	△ 2	1	0	1
ファンクショナルプロダクツ	681	766	747	765	708	721	729	750	42	66	54	52	51	58	60	62
日本	417	461	455	484	438	451	434	474	20	35	25	20	25	28	27	29
海外	339	393	381	362	346	351	374	360	22	31	29	31	27	29	33	33
連結調整	△ 76	△ 88	△ 88	△ 81	△ 76	△ 81	△ 79	△ 84	△ 0	△ 0	0	0	△ 1	1	0	0
その他、全社・消去	△ 102	△ 107	△ 108	△ 102	△ 116	△ 88	△ 84	△ 69	△ 20	△ 25	△ 19	△ 19	△ 16	△ 14	△ 17	△ 24
連結合計	2,558	2,831	2,688	2,635	2,621	2,611	2,626	2,663	85	135	121	105	131	139	135	117

連結貸借対照表（参考）

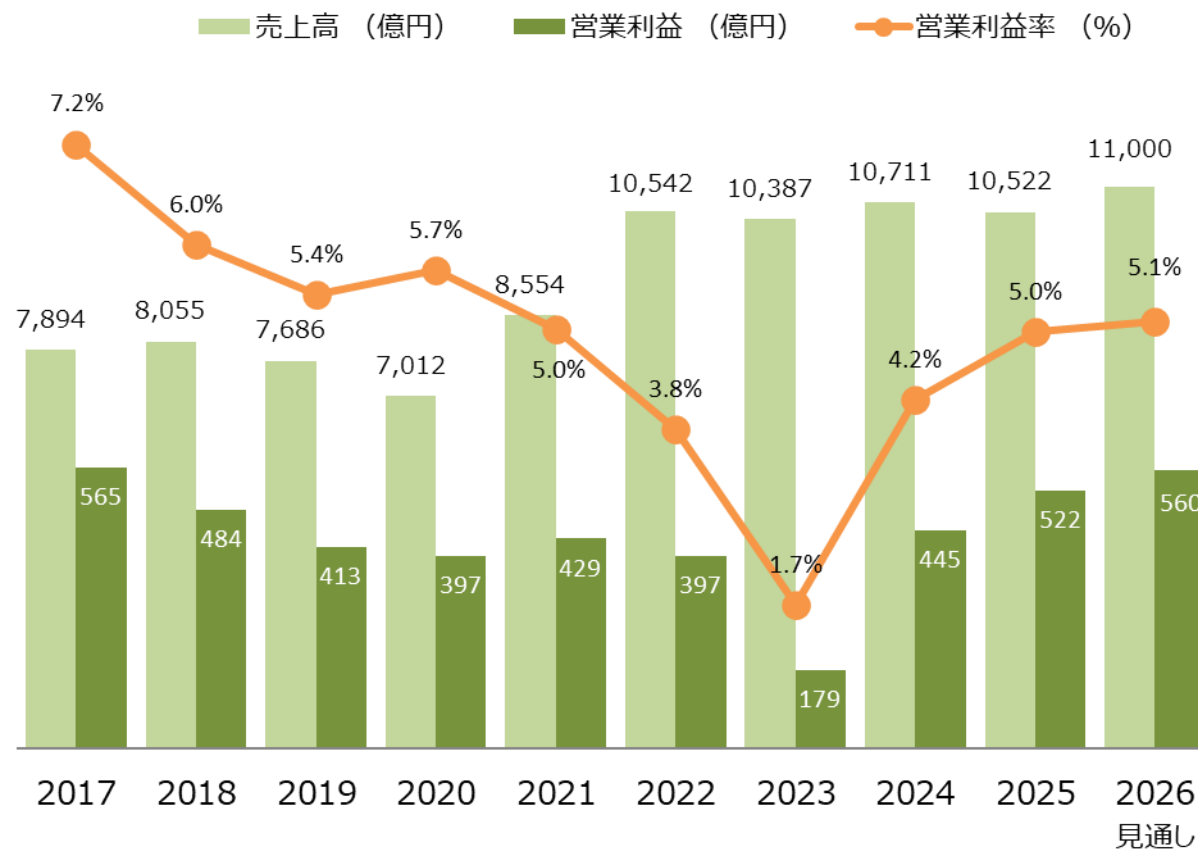
(億円)	2024 期末	2025 期末	増 減
流動資産	6,075	6,275	200
有形固定資産	3,641	3,711	70
無形固定資産	675	621	△ 54
投資その他の資産	1,873	2,133	260
資産合計	12,264	12,741	477
流動負債	3,331	3,865	535
固定負債	4,727	3,967	△ 760
負債合計	8,058	7,832	△ 226
株主資本	3,763	3,992	229
その他の包括利益累計額	251	717	466
（為替換算調整勘定）	(346)	(642)	(296)
非支配株主持分	192	200	8
純資産合計	4,206	4,908	702
負債純資産合計	12,264	12,741	477
有利子負債残高	4,843	4,583	△ 261
現預金残高	619	689	70
ネット有利子負債	4,225	3,894	△ 331

連結キャッシュ・フロー計算書（参考）

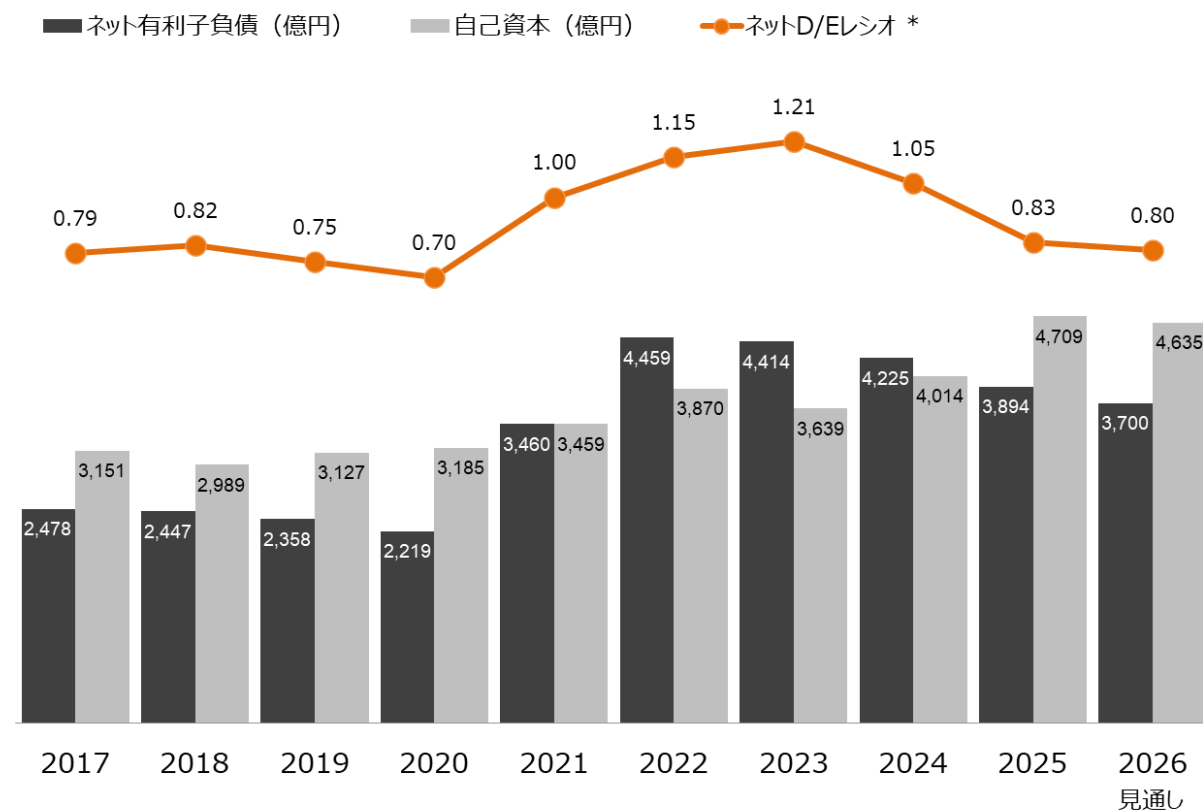
（億円）	2024	2025	増 減
営業キャッシュ・フロー	462	730	268
投資キャッシュ・フロー	△ 171	△ 206	△ 35
財務キャッシュ・フロー	△ 626	△ 454	172
現金及び現金同等物の期末残高	609	673	64
フリーキャッシュ・フロー	291	524	233
運転資本の増減額	△ 208	△ 78	130
設備投資・投融資	473	426	△ 47
減価償却費・のれん償却額	539	550	10

業績の推移（参考）

業績

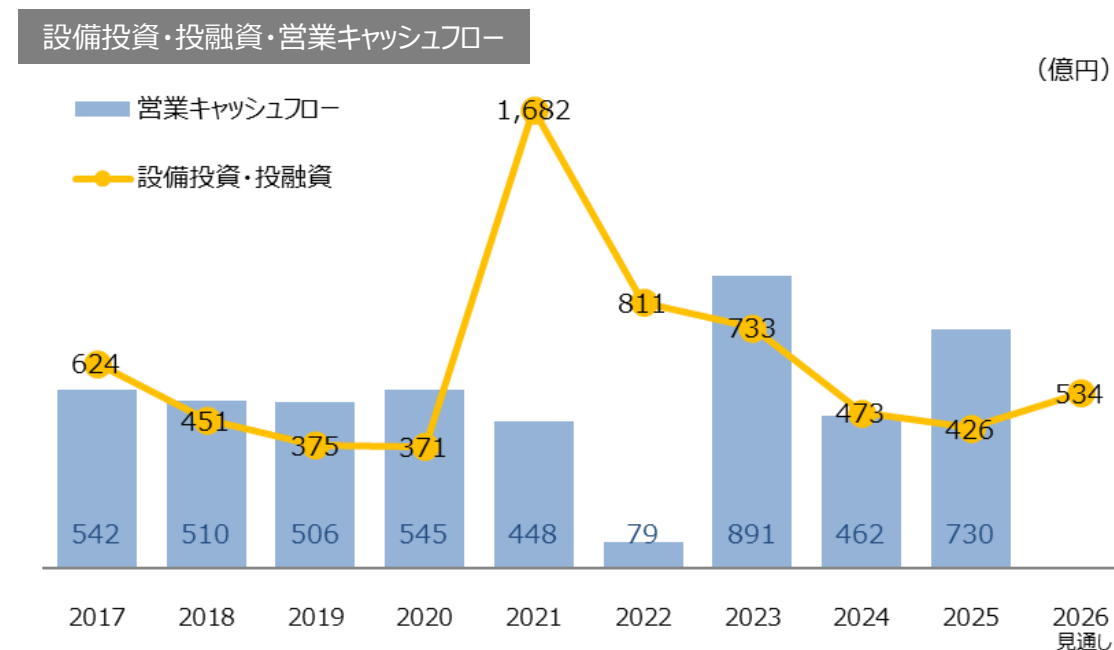
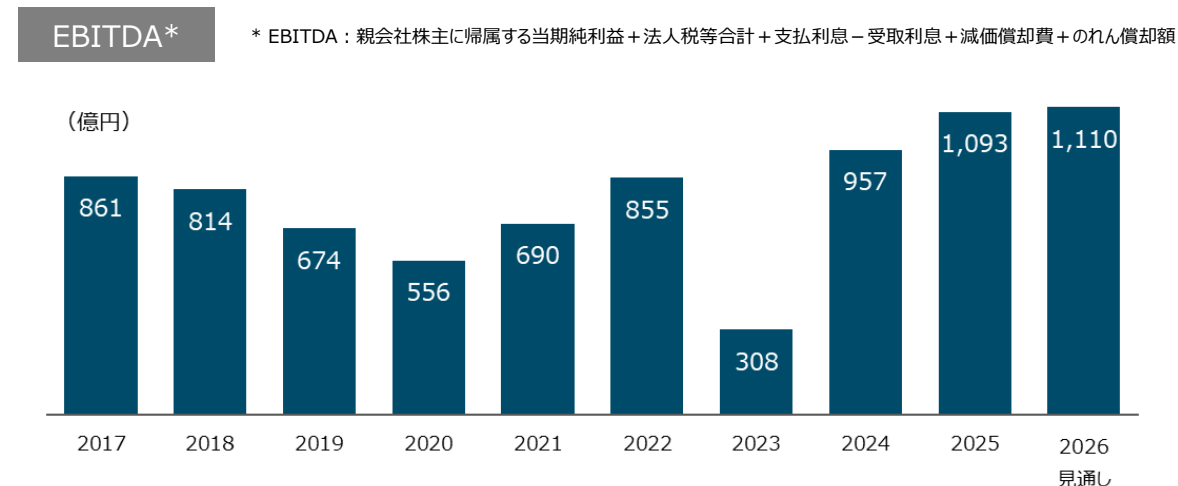
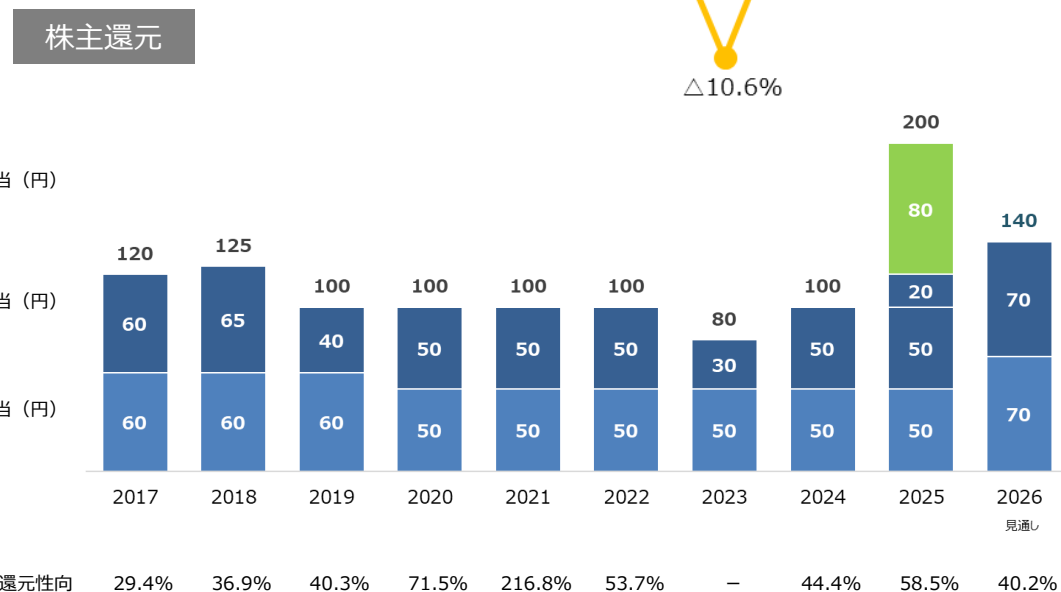
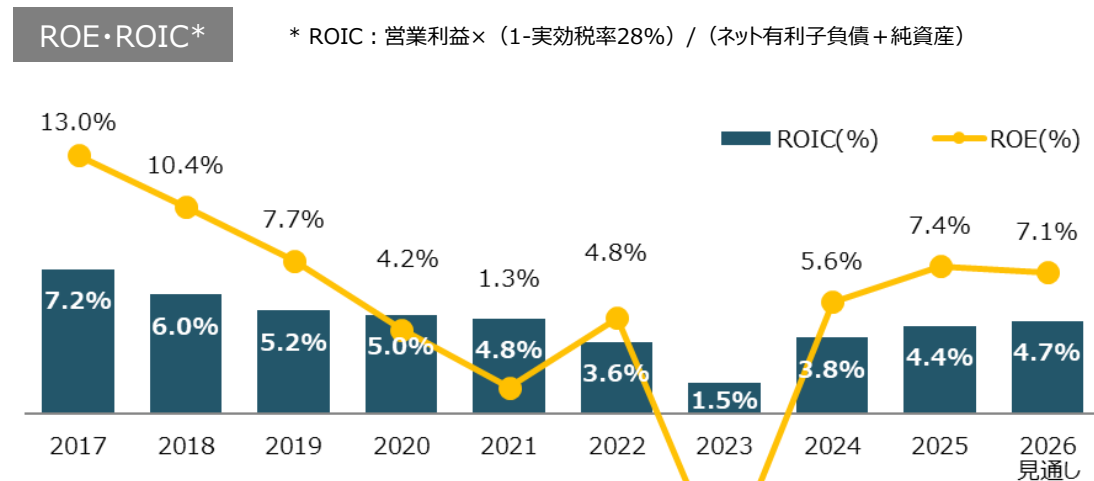


財務体質



* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

業績の推移（参考）



本資料の前提について

【為替レート】	2024				2025				2026前提
	1 Q	上期	1-3Q	年間	1 Q	上期	1-3Q	年間	通期
USD/円 平均レート	147.58	152.13	150.43	151.04	152.46	148.58	148.42	150.08	150.00
USD/円 期末レート	151.36	160.95	141.71	156.24	149.05	143.91	148.29	156.60	150.00

【原料】	2024				2025				2026前提
	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月	通期
原油（WTI）ドル/バレル	77.00	80.60	75.10	70.30	71.40	63.70	64.90	59.10	65.00
国産ナフサ 円/kl	72,500	79,000	76,900	73,200	73,400	66,300	63,200	65,600	65,000

【決算期】

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。
当期は、2025年1月1日から12月31日までの12ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

＜予想に関する注意事項＞

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、
当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



DIC Corporation